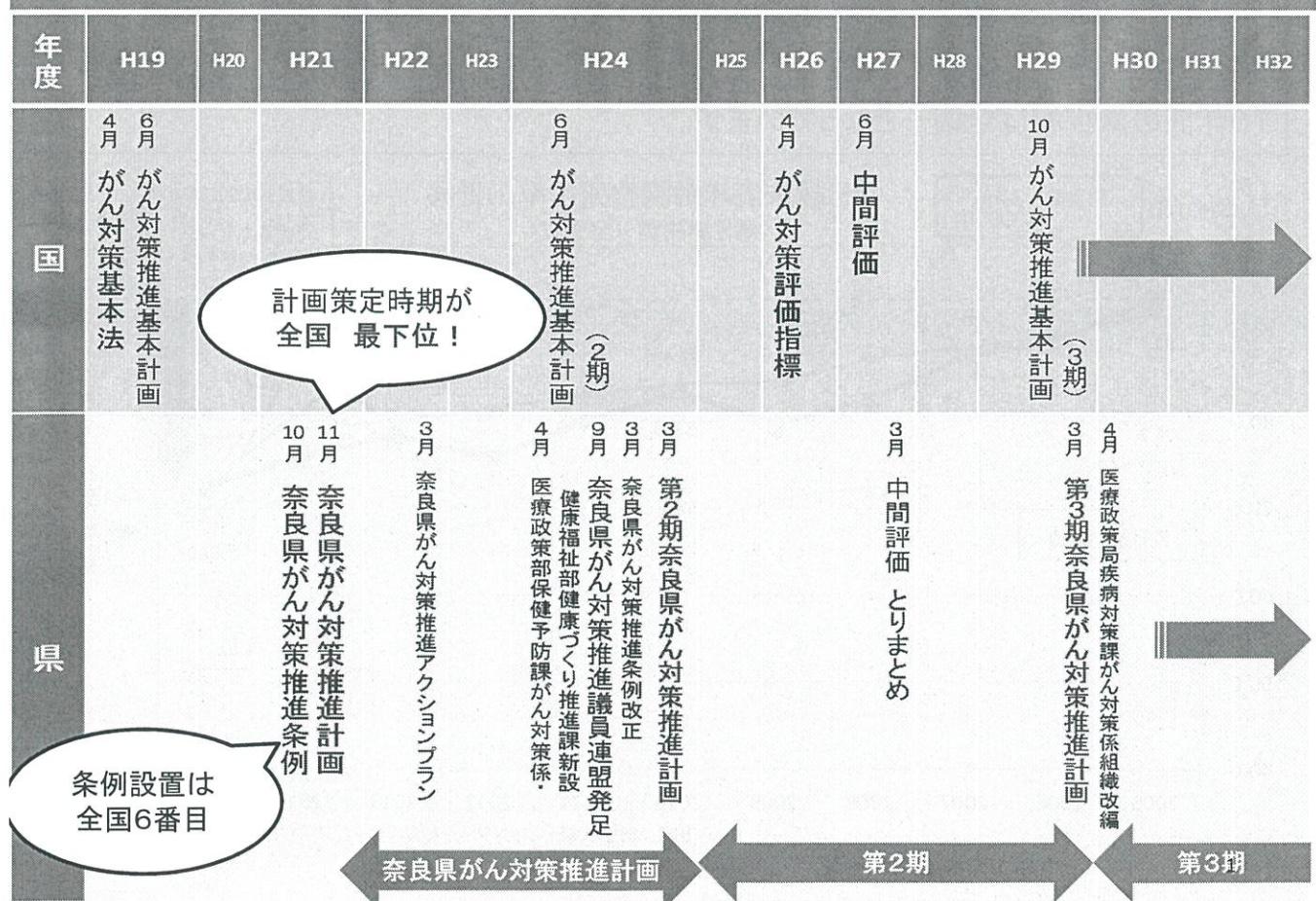
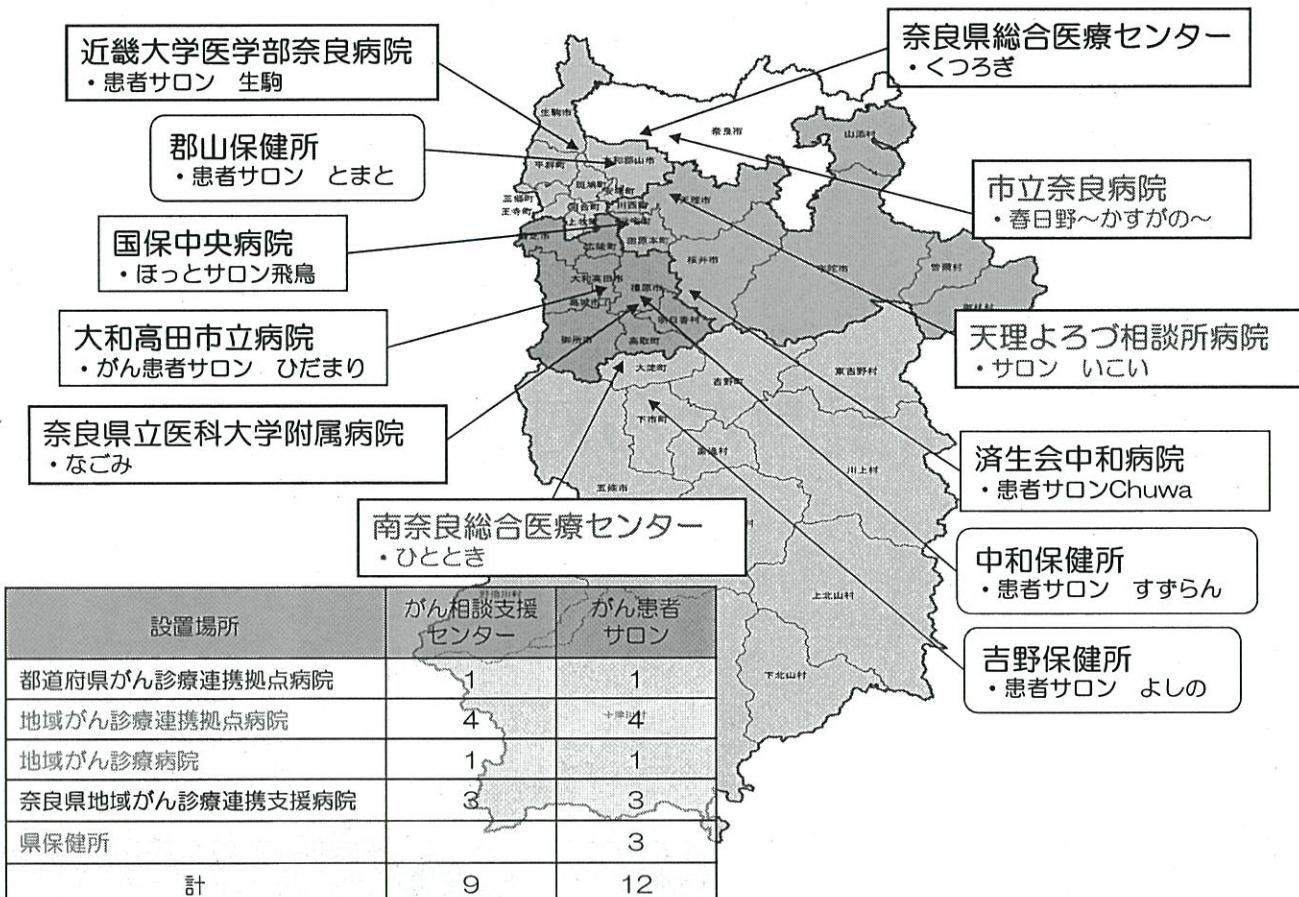


第3期奈良県がん対策推進計画 について

国・奈良県におけるがん対策の取組経緯

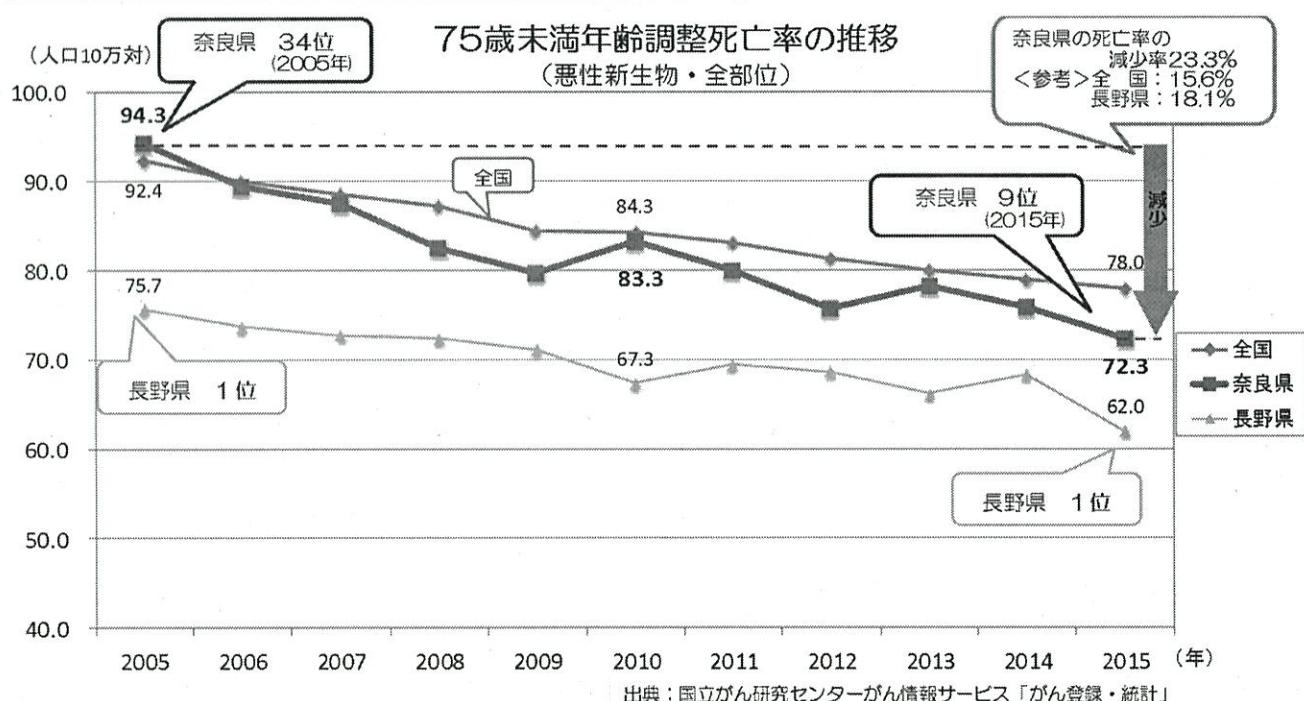


がん医療提供体制・がん相談支援センター・がん患者サロンの設置状況



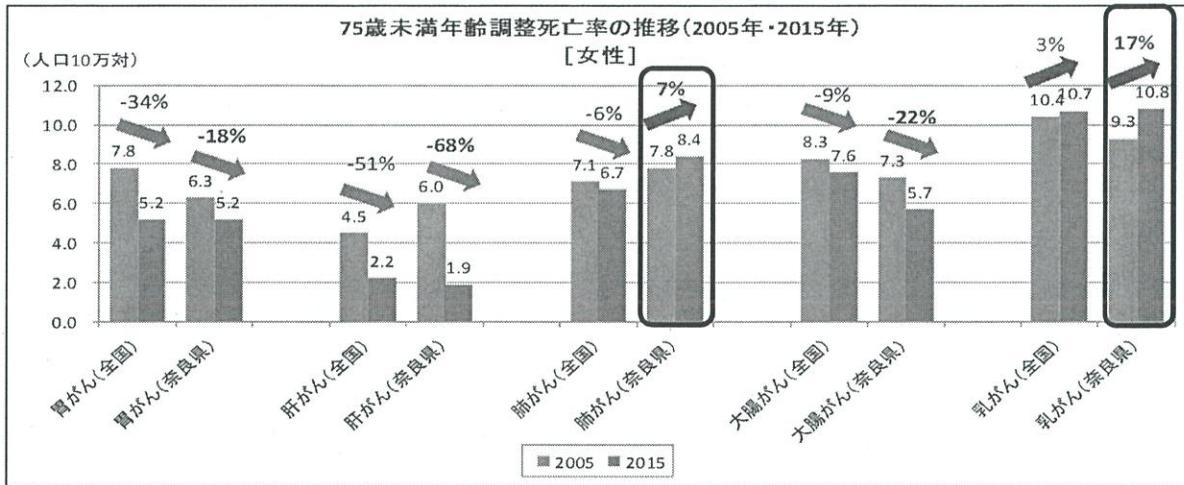
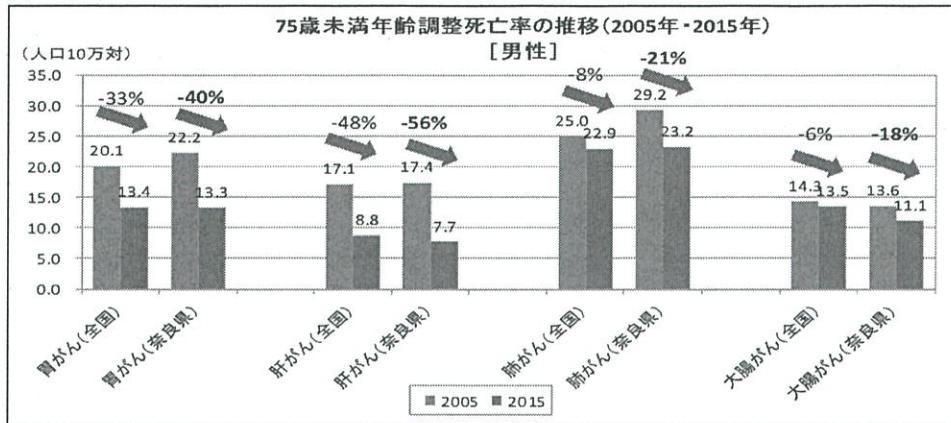
がん死亡率は大きく改善しています。

○奈良県のがん死亡率は2005年からの10年間で全国34位から9位に改善しており、10年間の減少幅は全国一となっています。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

奈良県のがん種別75歳未満年齢調整死亡率の推移



4

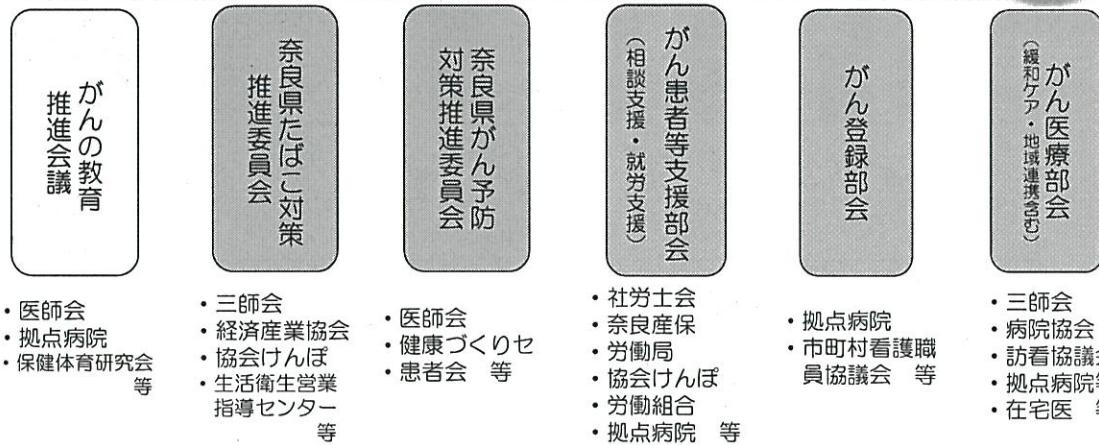
計画策定にあたっての本県の特徴

特徴その① ～がん対策参画者の主体的な取組へ～

奈良県がん対策推進協議会

会長：奈良県立医大 放射線腫瘍医学講座 長谷川 正俊 教授

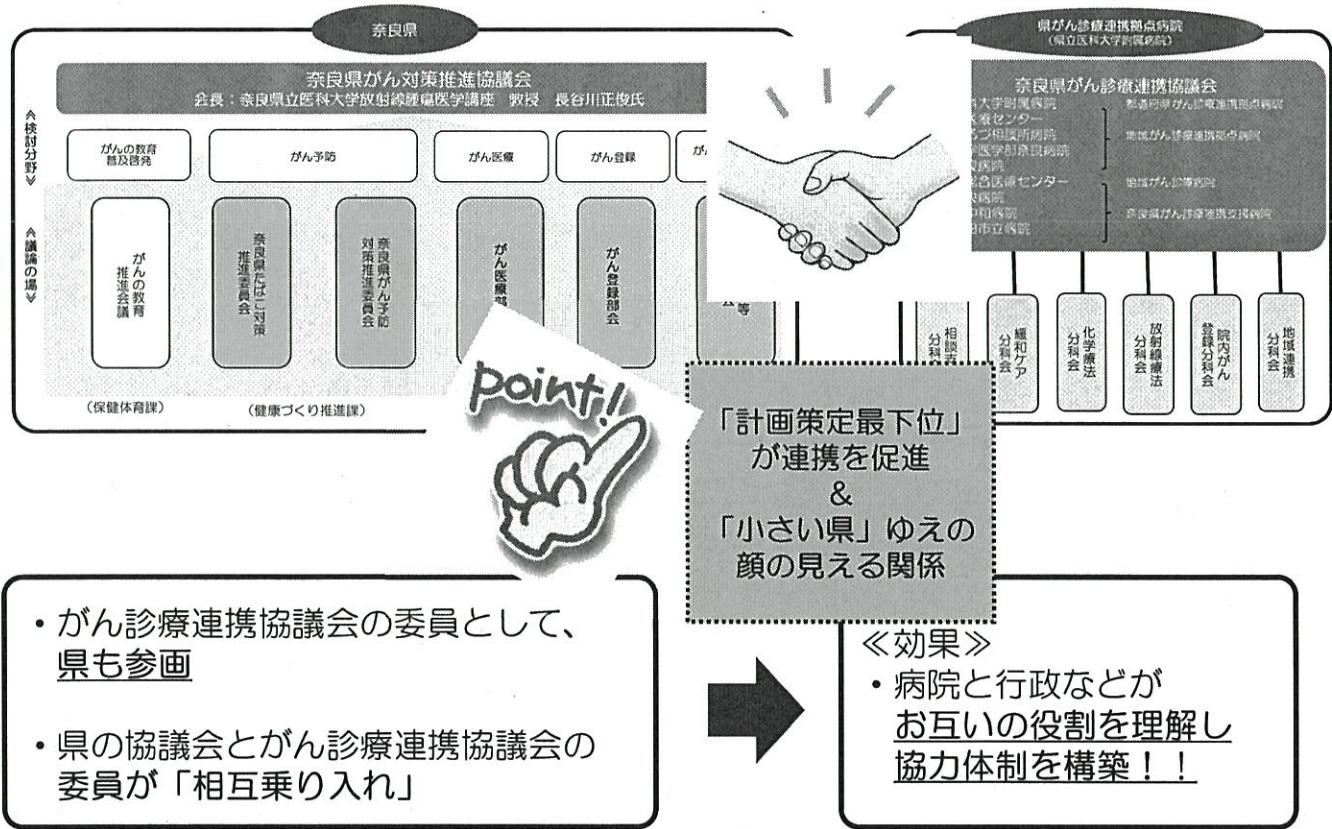
3/14
人



医療関係者・有識者・
関係団体・患者等県民

総勢 88名で議論

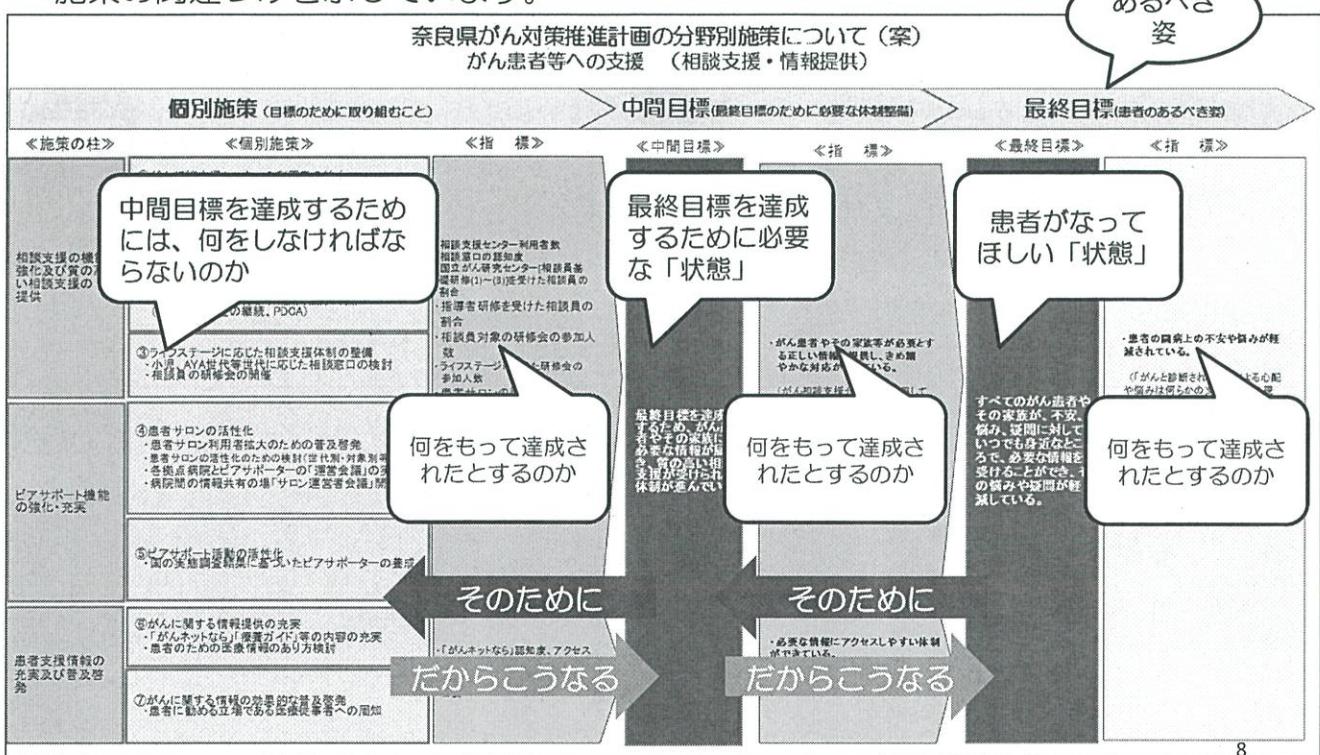
特徴その② ~がん診療連携拠点病院との連携を強化~



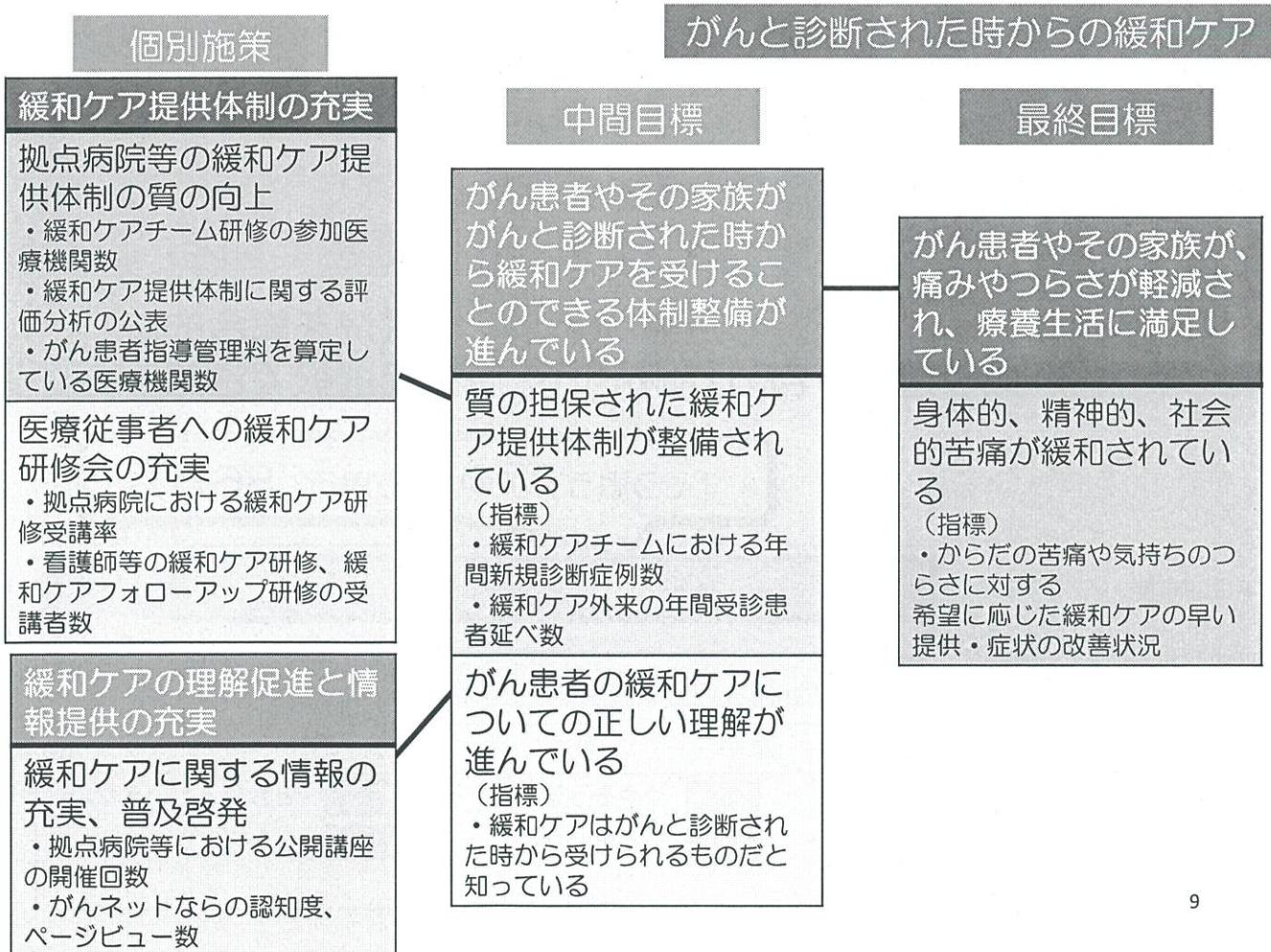
特徴その③ ～がん対策をロジカルに！～

ロジックモデルとは？

「原因と因果関係の論理構造図」を示しており、がん計画では、分野ごとの目標と施策の関連づけを示しています。



出典：がん政策サミット版「改訂 誰でもできる！第3次計画策定ガイドブック」より一部改変



特徴その④ ~患者や県民の声を活かす!~

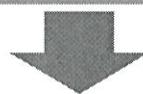
よい医療の提供やよい対策を実施しても・・・
県民や患者さんに届いているの??



がん患者さん、県民の声を聞いてみよう!!

■がん対策の議論の場に県民参加
協議会・部会の委員として県民から公募

■がん患者に対する意識調査
「ならのがんに関する患者意識調査」を実施



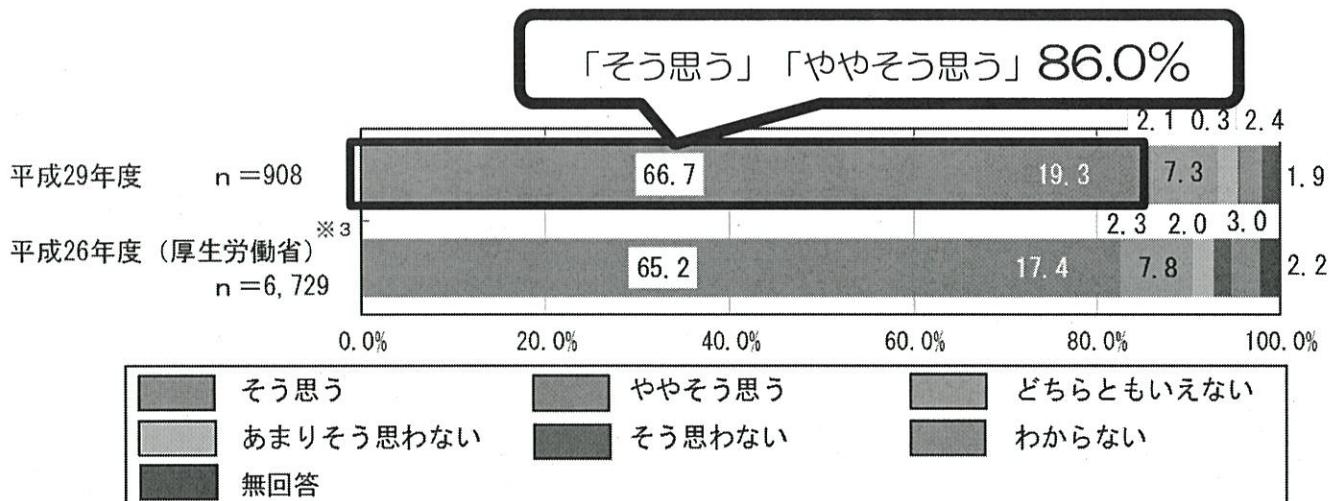
10

指標の一例

例えば・・・

「がん医療の充実」の目標として、
“がん患者が納得した治療を選択できている”

指標 がんの診断から治療開始までの状況を総合的に
振り返り、自分が納得いく治療を選択できた



11

特徴その⑤～がん登録データを活用した指標設定～

第2期計画では・・・

最終目標として、“がん患者の声”を中心に指標を設定。



がん患者の意識の向上や満足度は大切！！

しかし・・・

本当に県民やがん患者へ対策が届いているのか？？



第3期計画では・・・

がん登録データを活用してみよう！！

がん登録データを活用した指標①

「がんの早期発見」の目標として、
“がんが早期の段階で診断されている”

個別施策

がん検診の受診促進
<指標>
・コール・リコールを実施している市町村数
・セット検診を実施している市町村数

中間目標

がん検診を受けやすい体制整備ができる
<指標>
・がん検診受診率

最終目標

がんが早期の段階で診断されている
<指標>
・がん登録における早期がんの割合

指標	現状値	目標
がん登録における早期がんの割合	胃 57.7% 大腸 40.2% 肺 32.9% 乳 60.6% 子宮 42.2% (H25)	増加

がん登録データを活用した指標②

「がん予防」の目標として、
“がんの罹患が減少している”

指標	現状値	目標
がん罹患率	全部位 367.3 (H25)	減少 (12年後評価)

「がん医療の充実」の目標として、
“安全かつ安心な質の高いがん医療を受けている”

指標	現状値	目標
5年相対生存率	—	増加 (12年後評価)

「予防対策」「早期発見対策」「治療の質対策」の評価ができ、
がん患者へ対策が届いているか、客観的な評価が可能！！

特徴その⑥ ~県民に分かりやすい~

めざす姿

《最終目標》 ~患者のあるべき姿~

すべてのがん患者やその家族が、不安、悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している。

目標	評価指標	現状値 (基準値)	目標
がん患者の不安や悩みが軽減されている	がんと診断されたことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減している	ならのがんに関する患者意識調査	36.4% (H29)
がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている	からだや治療のことでの心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある	ならのがんに関する患者意識調査	32.3% (H29)

分野別施策がひと目で
分かるように工夫！！

最終目標
患者がなってほしい状態

最終目標を評価するための指標

《中間目標》 ~最終目標達成のために必要な体制整備~

最終目標を達成するため、がん患者やその家族に必要な情報が届き、質の高い相談支援が受けられる体制が進んでいる。

目標	評価指標	現状値 (基準値)	目標
がんに関する情報が得やすい体制ができる	がんに関する情報（治療方法、診療体制、治療費用、社会保険制度など）が不十分である	ならのがんに関する患者意識調査	22.3%～44.4% (H29) (基準値)
がん患者やその家族等が、質の高い相談支援が受けられる体制ができる	がん相談支援センターを利用して、相談が後に立った	がん相談支援センター利用状況調査	100% (H28)

中間目標
最終目標を達成するため
に必要な状態

中間目標を評価するための指標

個別施策 ~目標達成のために取り組むこと~

1 相談支援機能の強化

①がん相談支援センターの利用促進と相談支援の

2 患者目線での情報提供の充実

②患者に必要ながんに関する情報の見える化

**施策の柱
個別施策**

特徴その⑦ ~誰が、何を、いつ、実行するの？？~

施策の柱	目標	現状値 (基準値)	目標値	主な取組	年次計画						実施主体					
					H30	H31	H32	H33	H34	H35	県	市町村	拠点病院等	医療機関	その他	県民・患者政策
1 相談支援機能の強化	・がん相談支援センターの利用者数	5,880件 (H26)	増加	③がん相談支援センターの利用促進と相談支援の質の向上 ・拠点病院等院内の広報の周知	周知						◎					
	・相談支援センターの認知度	51.8% (H26)	増加	・拠点病院等の主治医等による患者への周知	周知						◎					
	・国立がん研究センター研修【指導者研修】を受けた相談員数	12人 (H26-29)	増加	・県民だより等、機会を捉えた周知	周知						◎	○	○	○	○	○
	・県内相談員対象の研修会の開催回数	1回 (H26)	実施継続	・拠点病院等の医師に対する周知	周知						○	○				
	・がん患者サロンの利用者数	801人 (H26)	増加	・拠点病院と連携した地域の講演会等での周知 講演会等での周知	講演会等での周知						◎	◎				
	・がん患者サロンの認知度	50.2% (H29)	増加	・国立がん研究センター相談員指導者研修等の継続受講	相談員指導者研修の実施						○		◎			
	・がん患者サロン運営会議の開催回数 〔各拠点病院〕	8回 (H26)	実施継続	・県拠点病院等による、相談員を対象とした研修会の実施	研修会の実施継続・評価						◎	◎	○			
	・がん患者サロン運営者会議の開催回数	2回 (H26)	実施継続	・相談員の配置の把握とフィードバック 現況報告・実地調査にて把握	現況報告・実地調査にて把握						◎		○			
	・ピアソポーター養成数	48人 (H29)	増加	②ライフステージ等に応じた相談支援体制の整備 ・小児、AYA世代等世代に応じた相談窓口の整備と整備 ・小児、AYA世代のがん患者のニーズの情報収集と交流会の実施	調査の実施（年1回）						○	○				○
				・相談員を対象とした研修会の実施	PDCAの評価・分析						○	○				
					検討						◎	◎				

計画の実現に向けた取組

1. 患者や県民の声を大切にする。
2. 最終目標を達成するために、患者等県民、医療関係者、関係団体、有識者、行政等が一体となって、がん対策に取り組む。
3. PDCAサイクルにより、進捗状況や目標の達成状況を関係者と確認しながら、より充実した取組につなげる。
4. 実施した対策が、がん患者や県民にどれだけ効果をもたらしたのかを客観的に評価する。

第3期 奈良県がん対策推進計画 概要

【計画の位置づけ、根拠法令等】

がん対策基本法第12条に基づく法定計画

「なら健康長寿基本計画」「奈良県保健医療計画」と整合する計画

【計画期間】 平成30年度から平成35年度までの6年間

【策定の趣旨】 国の第3期計画の考えに基づきつつ、県の第2期計画の現状と課題から必要な取組を明らかにし、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図る

基本理念

がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県

全体目標

めざすところ 「がんで亡くならない県、日本一」

【数値目標】

がん75歳未満年齢調整死亡率 27%減少
72.3 (H27) → 52.8 (H39)

1 がんにならない、がんで若い人が
亡くならない

2 すべてのがん患者とその家族の苦痛が
軽減され、安心、納得のいく療養生活を
送ることができる

3 すべての県民ががんを知り、がんと
向き合い、希望を持って暮らせる地域
共生社会をつくる

分野別施策

がん予防・早期発見

がん予防

めざす姿：県民ががん予防に取り組み、罹患が減少している。
・たばこ対策の充実
・健康的な生活習慣の普及
・感染症予防の充実

がんの早期発見

めざす姿：県民が質の高いがん検診を受診できている。
・がん検診の受診促進
・がん検診精度管理の充実 等

がん医療

がん医療の充実

めざす姿：がん患者が、質の高いがん医療を受けることができている。
・がん医療提供体制の充実
・がん医療の質の向上
・患者目線でのがん診療情報の提供
・小児・AYA世代のがん医療の連携促進

診断された時からの緩和ケア

めざす姿：がん患者等が、痛みやつらさが軽減され、療養生活に満足
している。
・緩和ケア提供体制の充実
・緩和ケアの理解促進と情報提供の充実

地域連携

めざす姿：がん患者が、自分の望む場所で療養生活を送ることができ
る。
・拠点病院等の地域連携体制の充実
・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実

がん患者等への支援

相談支援・情報提供

めざす姿：がん患者等が、必要な情報を受け取れ、悩みや疑問
が軽減している。
・相談支援機能の強化
・患者自縛での情報提供の充実
・小児等世代に応じた相談支援体制の整備

がん患者の就労を含めた社会的問題

めざす姿：働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができ
る。
・がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実
・がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備

がん教育・普及啓発

めざす姿：子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がん予防
や早期発見に注意を払っている。

- ・中学・高等学校におけるがん教育の充実
- ・小学校（高学年）における啓発活動の推進
- ・がん対策全般に関する普及啓発の推進

これらを支える基盤整備

がん登録

めざす姿：がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医
療を受けることができる。

- ・がん登録の精度向上
- ・がん登録データを活用したがん対策の検討・実施 18
- ・データを活用した情報提供等

第3期奈良県がん対策推進計画の目標設定について①

《基本理念》 がんにならない、がんになっても安心できる奈良県

1. がんにならない、がんで若い人が亡くならない（がん予防、早期発見、早世防止）

●指標

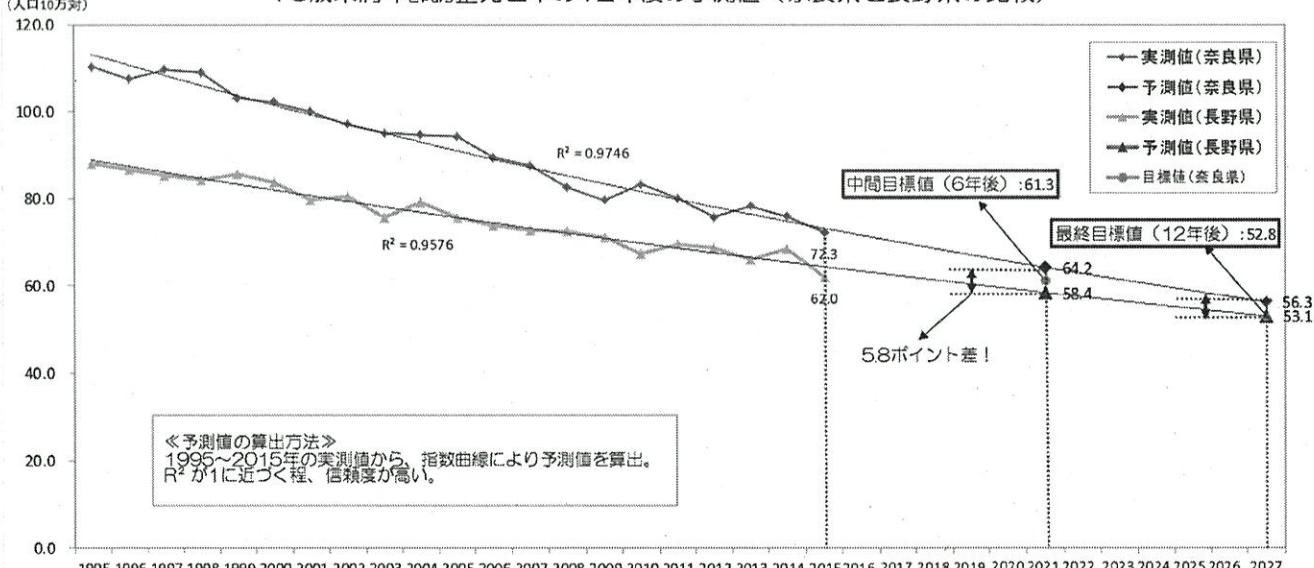
「がんで亡くならない県、日本一！」をめざし、 75歳未満年齢調整死亡率 27%減少

健康長寿日本一、がん死亡率が日本一低い長野県と比較すると・・・

12年後（2027年）の予測値は、奈良県 56.3 3.2 ポイント差！

長野県 53.1 (長野県に追いつくには26.6%減少が必要)

75歳未満年齢調整死亡率の12年後の予測値（奈良県と長野県の比較）



第3期奈良県がん対策推進計画の目標設定について②

2. すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる

●指標（「ならのがんに関する患者意識調査」より）

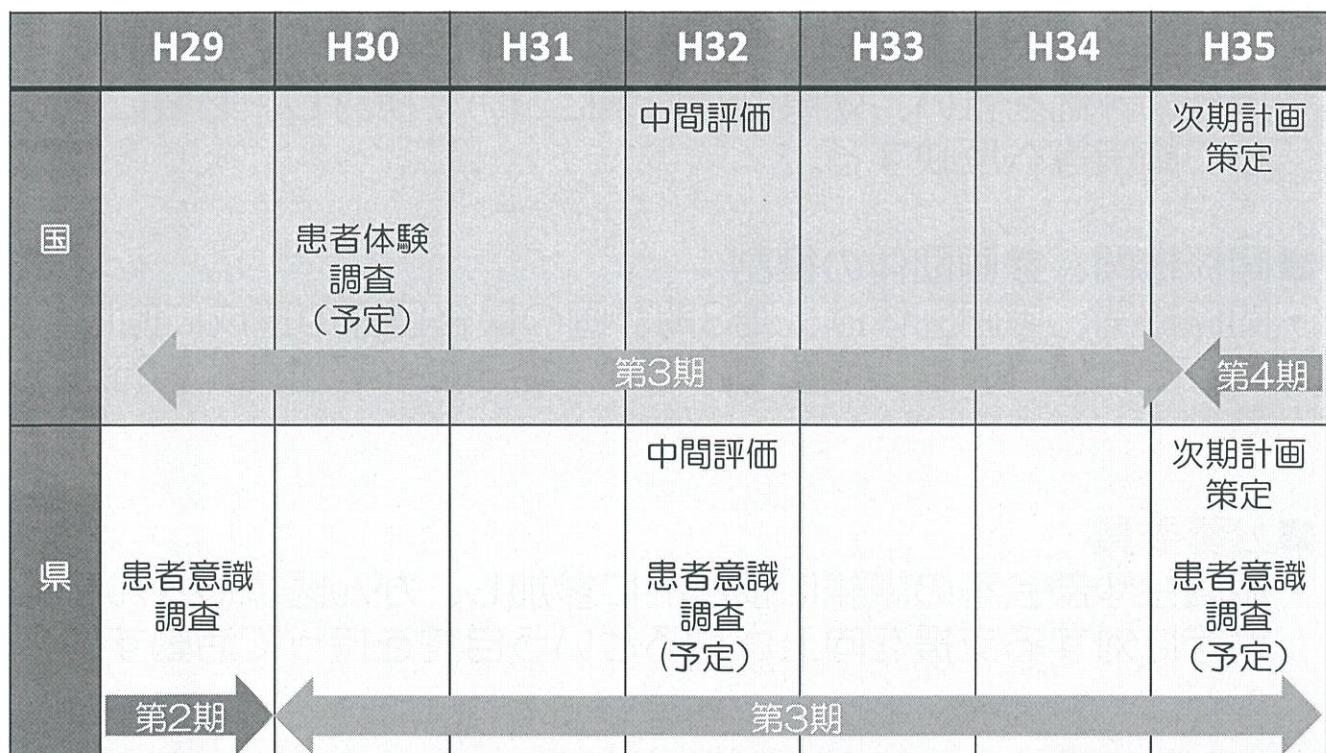
指標項目	基準値 (H29)	目標
①現在の心身の状態についてからだの苦痛（痛み）があると回答のあった人の割合	17.4%	減少
②現在の心身の状態についてからだの苦痛（痛み以外の症状）があると回答のあった割合	33.8%	減少
③現在の心身の状態について気持ちがつらいと回答のあった人の割合	30.5%	減少
④経済的なことや就労のことなど、生活上の心配があると回答のあった人の割合	27.5%	減少
⑤これまで受けた治療に納得していると回答のあった人の割合	88.1%	増加
⑥がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって現在は軽減されたと回答のあった人の割合	36.4%	増加

3. すべての県民ががんを知り、がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる

●指標（「ならのがんに関する患者意識調査」「県民アンケート」より）

指標項目	基準値 (H29)	目標
①現在の日本は、がん治療を受けながら、働き続けられる環境だと思うと回答のあった人の割合	29.1%	増加
②この1年間に自らの健康づくりのためにしたこと ・がん検診を受ける ・たばこを吸わない ・塩分を取り過ぎない	31.5% 55.9% 48.4%	増加

第3期奈良県がん対策推進計画推進スケジュール（案）



今後2年間のスケジュール（案）

	平成30年度									平成31年度									平成32年度				
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	～	8
協議会	●							●					●						●				
部会			↔	隨時	↔				↔	隨時	↔		↔	隨時	↔		↔	必要時	↔				

■協議会のミッション

- ・分野別施策の実施状況の確認
- ・がん計画全体の進捗状況管理、評価
- ・各関係者、団体等の取組状況の共有
- ・進捗状況や評価を踏まえての具体的な取組についての意見交換
- ・中間評価（平成32年度）に向けた、効果的な取組等の検討

■部会のミッション

- ・分野別施策の実施状況の確認
- ・分野別計画の進捗状況の管理、評価
- ・各関係団体等の分野別取組状況の共有
- ・進捗状況や評価を踏まえての具体的な取組についての意見交換

22

第3期計画の推進に向けて

■県の役割

- ・第3期計画を推進するため、毎年、施策の実施状況の確認や指標の評価を行い、効果的な対策について検討し、必要に応じて施策等へ反映する。

■関係機関、参画団体の役割

- ・関係機関、参画団体は、第3期計画の最終目標の達成に向けて、それぞれの立ち位置で、何ができるのかを考え、実行する。

■公募委員

- ・協議会や部会等の議論に積極的に参加し、がん医療やがん患者等に対する支援を向上させるという自覚を持って活動する。

県民やがん患者に届くがん対策の推進へ

